

令和8年度 チームアップ鈴が峰 事業計画書

1 今年度の目標

・ 設立2年目のため、地域での認知度を高める。
・ 地域課題のうち、一番深刻な高齢化問題に対応するため、鈴が峰小学校との触れ合いとフレイル対策を強化する。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	夏まつり開催	(6)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年8月1日	
(2) 実施場所	鈴が峰小学校	
(3) 参加者数	800 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 チームアップ鈴が峰、鈴が峰地区社会福祉協議会	
4 取組内容	鈴が峰地区の各自治会と各団体が連携・協力して開催する、「鈴が峰3大まつり」の1つである「夏祭り」を開催する。 ・ ステージ発表(太鼓・舞踊・バンド等) ・ 各種地域団体による出店 ・ 盆踊り ・ お楽しみ抽選会	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・ 地域内外の方々・団体に参加してもらうことで、人と人、団体間のつながりを強化し、地域の活性化を図る。 ・ 幅広い世代の方々が集い「夏まつり」を共有することで「ふるさと鈴が峰」を体感してもらうこと。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・ 多世代の地域住民と地域団体が交流することで、地域の活力の醸成。 ・ 地域・団体間の連携強化と地域行事のノウハウの継承。	

1 事業名	すずがみね文化のつどい開催	(6)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月18日	
(2) 実施場所	鈴が峰小学校	
(3) 参加者数	300 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 チームアップ鈴が峰、鈴が峰地区社会福祉協議会	
4 取組内容	鈴が峰地区の各自治会と各団体が連携・協力して開催する、「鈴が峰3大まつり」の1つである「すずがみね文化のつどい」を開催する。 ・チラシ、広報紙等で広く参加を呼びかける ・北広島町 八重西神楽団をお呼びして、本場の神楽を鑑賞する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・伝統文化や芸術に触れる機会を作り、文化活動を育成すること。 ・幅広い地域住民が参加することで、繋がりを強化し地域内の活性化を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・文化、芸術に理解を深め、豊かな感性を育成する。 ・多くの方に参加してもらうことで、地域の文化に触れながらお互いの交流を深めることができる。	

1 事業名	とんどまつり開催	(6)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年1月10日	
(2) 実施場所	鈴が峰会館前広場	
(3) 参加者数	500 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 チームアップ鈴が峰、鈴が峰地区社会福祉協議会	
4 取組内容	鈴が峰地区の各自治会と各団体が連携・協力して開催する、「鈴が峰3大まつり」の1つである「とんどまつり」を開催する。 ・チラシ・ポスター等で広く参加を呼びかける ・とんどの組立て、お焚き上げ ・振る舞い（ぜんざい等） ・ビンゴ大会	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・鈴が峰町の子どもたちが伝統的な文化に触れ、ふるさとを大切にする心を育むとともに、鈴が峰町のコミュニティ活動の振興を図る。 ・子どもから大人まで、地域の多様な人材が協力することによって、伝統行事とそのノウハウを継承する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・地域住民、地域団体・多世代の交流により、地域の活力醸成・連帯意識の向上につながる。 ・行事の運営やノウハウの継承。	

1 事業名	災害に強いまちづくり事業	(6)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年2月28日	
(2) 実施場所	鈴が峰小学校	
(3) 参加者数	200 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 チームアップ鈴が峰	
4 取組内容	地域住民と各種地域団体が参加する定期的な防災訓練を実施する。 ・避難訓練 ・テント、ベッド等設営訓練 ・炊き出し訓練 ・防災士資格の取得 ・備蓄品の購入	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・鈴が峰地区は坂が多く高齢化率も高いため、災害発生時の避難が困難であることが想定される。そのため定期的な防災訓練を開催することで、地域住民の防災意識の向上を図るとともに、災害発生時にスムーズに避難できる体制を作る。 ・防災に関しての専門知識を身に着けた人材を増やすこと。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・地域住民の、防災対策・自主防災活動参加の啓発。 ・災害発生時の協力体制が整うことで、スムーズな避難につながる。	

1 事業名	ふれあい見守り事業	(6)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	鈴が峰会館／鈴が峰小学校 他鈴が峰町内会	
(3) 参加者数	13,000 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 チームアップ鈴が峰、鈴が峰地区社会福祉協議会	
4 取組内容	・「おひさまネット」支援・フレイル対策 ・鈴が峰小学校とのふれあい事業 ・安全なまちづくり事業 ・ふれあいサロン事業 協賛 ・まちの美化活動	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・鈴が峰地区において、高齢化・核家族化進む中で世代を超えたふれあい・交流・見守りを強化するため。 ・犯罪のない、安全で居心地が良く住みやすいまちにしていくため。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・孤立化を防ぎ、一人一人が元気で自分らしく生きるきっかけとなる。 ・他世代間で「顔なじみ」の関係を築き、支援のネットワーク形成につながる。 ・犯罪のない美しいまちづくりにつながる。	

1 事業名	いきいきサロン・「わがまち鈴が峰で元気に生きよう」講座 共催	(6)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	鈴が峰会館	
(3) 参加者数	500人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 チームアップ鈴が峰、鈴が峰地区社会福祉協議会	
4 取組内容	高齢者や全世代を対象とした交流の場としてサロンを開催する。 ・チラシ・広報紙等で広く参加を呼びかける。 ・健康講座 ・クリスマス会	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・高齢者や全世代を対象とした講座を開催することで、住民の健康づくりや意識の向上、住民同士の交流を図るため。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・高齢者の健康維持と健康に対する意識の向上につながる。 ・住民同士の新たな出会いと、顔の見える関係づくり。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
	なし		